

基本方針1 地域の実情や企業ニーズを踏まえた職業能力開発の推進

実施目標

項目	現状 (H27年度)	目標	H30年度実績 〔H29年度実績〕 〔H28年度 〃 〕	H30年度の主な取組	取組の評価	R01年度の主な取組
離職者等再就職訓練事業における就職率	75.1%	現状の水準以上とする	75.3% 〔77.9%〕 〔77.9%〕	<ul style="list-style-type: none"> 民間教育訓練機関に委託による職業訓練の実施。(202コース、受講者3,169人) 委託先の訓練機関からHWへの誘導による就職支援の徹底を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用情勢も良好で、近年就職率は高めに推移している。 平成30年度については、目標値と同水準の見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家資格等の取得を目指した長期高度人材育成コースを拡充し、正社員就職を促進する。 大型自動車一種免許の取得を目指したコース等、国から示された新規コースの設定に向け検討する。 引き続き、委託先の訓練機関、HW、労働局と連携し、就職支援の徹底を図る。
県立高等技術専門校の応募倍率	1.08倍	現状の水準以上とする	0.96倍 〔1.01倍〕 〔1.06倍〕	<ul style="list-style-type: none"> 随時実施している施設見学の他、ハローワークにおける訓練説明会及び高等学校での説明会を実施。 ちばテク推進検討会でのPR活動の検討及び入校促進担当(嘱託職員)によるPR活動 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に応募倍率が下降傾向にあるため、募集広報活動を強化する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に実施した電車内中吊り広告に加え、駅構内でのポスター掲示を実施し、認知度の向上に向けた広報活動を行う。 引き続き、ちばテク推進検討会において、広報活動の取組について検討する。
県立高等技術専門校の入校率	66.8%	毎年度2ポイント増加を目指す	64.2% 〔64.2%〕 〔69.8%〕	<ul style="list-style-type: none"> 市町村開催の産業振興イベントに職業体験コーナを出展 広報用クリアファイルの製作・配付 電車内中吊り広告と折込チラシを実施 Bay FMにおいて、募集案内を2回放送 ハローワークでのデジタルサイネージによる募集案内の放映等 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度と同様の入校率となり、以前として70%を割っている状況にあるため、入校促進の取組を強化していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実施に実施したちばテクの訓練科等に関するニーズ調査結果等を参考にし、一部訓練科の見直しを実施する。残りの訓練科についても順次見直しを検討する。
県立高等技術専門校の就職率	86.9%	毎年度88.0%を上回る	89.7% 〔91.5%〕 〔90.9%〕	<ul style="list-style-type: none"> 各校において、技能・技術(資格)の習得に加え、引き続きコミュニケーション研修やビジネスマナー研修を実施する。 就職支援アドバイザーによる訓練生への就職支援セミナーの実施(3校 93名受講) 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用情勢の改善に伴い、高等技術専門校の求人状況は良好であるため、目標を達成しているものの就職率は昨年度として若干下がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 入校促進担当(嘱託職員)訪問の通信制高等学校等からの応募が増えてきたことから、引き続きPR活動を実施する。 訓練生の内定状況等を訓練生の母校に報告する等の取組により新規学卒者の応募が増えていることから各校においても広報への取組を強化し、ちばテクの魅力を発信する。
県立高等技術専門校における在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業の受講率	78.2%	毎年度80.0%を上回る	72.4% 〔77.7%〕 〔75.4%〕	<ul style="list-style-type: none"> メニュー型訓練を34コース(定員296名・受講者201名)、オーダー型訓練を10コース(定員52名・受講者51名)の実施。 応募者が多く集まるコース数を増やし、企業ニーズの高いコースを新設した。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標の受講率80%には届かなかったものの、実施コース数、受講者数及び修了者数それぞれ昨年度よりも増加した。 目標に向けて、さらなる広報が必要であり、次年度の取組について、検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練コースの見直しを行い、応募者が多く集まるコース数を増やす。 オーダー型訓練について、企業の要望に応じて、出前授業の検討を行う。 企業ニーズの高いコースを増やす。

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

実施目標

項目	現状 (H27年度)	目標	H30年度実績 〔H29年度実績〕 〔H28年度 〃 〕	H30年度の主な取組	取組の評価	R01年度の主な取組
県立高等技術専門学校（普通課程）の正規雇用率	92.9%	現状の水準以上とする	92.4% 〔95.8%〕 〔94.2%〕	<ul style="list-style-type: none"> 各校において、技能・技術（資格）の習得に加え、引き続きコミュニケーション研修やビジネスマナー研修を実施する。 訓練科の指導員による企業訪問を通して企業のニーズを把握し、訓練カリキュラムの見直し等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用情勢の改善と全産業における人手不足感により、求人状況は良好となっている。 正規雇用率はH27年度を下回っているが修了生に限ると97.0%であり、良好である。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業等へのアンケート調査において、各訓練科のカリキュラム内容については、一定の評価を受けており、修了生の評価も良好であることから、引き続き、訓練内容の充実を図る。
県立高等技術専門学校の女性入校率	7.0%	毎年度、増加を目指す	11.9% 〔8.4%〕 〔9.9%〕	<ul style="list-style-type: none"> 女性にも職業訓練を身近に感じてもらうため、入校案内の表紙やPR動画において、女性を積極的に掲載。 一部の校では、古いトイレを明るい雰囲気の新しいタイプのトイレに改修するなどし、女性にも利用しやすい施設を見学者にPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の入校率は増加したが、入校者の半数以上が障害のある方を対象とした訓練科への入校である。 ものづくり系の訓練科では、イメージ先行で敬遠される傾向があるため、女性の入校を意識したPR活動を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の訓練生には、作業服も明るいものを選択している。 機械加工系の訓練科において訓練コース選択制度を設定し、CAD製図コースを実施。女性に対する求人ニーズもある職種であることをPRする。
離職者等再就職訓練事業での託児付きコースの開講数	10コース	毎年度12コースを上回る	18コース 〔13コース〕 〔11コース〕	<ul style="list-style-type: none"> 託児付きコースを18コース（うち従来型15コース）開講（託児利用児童数：37人） 	<ul style="list-style-type: none"> 託児付きのコース数を増やすため、委託先の訓練機関へコースの理解、協力を求める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 従来型（託児枠が10人）の託児付き訓練コースに加え、1人以上の託児付きサービスを付した企画提案を推進し、設定促進を図る。
県内の民間企業における障害者実雇用率	1.82%	法定雇用率を達成する ※～平成29年度2.0% 平成30年度～2.2%	2.02% 〔1.91%〕 〔1.86%〕	<ul style="list-style-type: none"> 法定雇用率未達成企業及び新たに障害者雇用義務の生じた企業等を対象とした障害者雇用支援制度等に関するハンドブックを作成・配布 障害者就労促進チャレンジ事業の企業見学会・相談会について、ハローワークのゼロ雇用企業達成指導と連携して実施 障害者雇用促進就職面接会の開催（ハローワーク千葉主催、県・市共催） 	<ul style="list-style-type: none"> 法定雇用率未達成企業や新たに障害者雇用率の対象となった企業への障害者雇用に関する周知について、未達成企業への達成指導を行う労働局（ハローワーク）と連携した取組により、効果的に行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 法定雇用率未達成企業への労働局長と知事の連名による障害者雇用促進要請文書の発出 障害者雇用促進就職面接会の開催（ハローワーク千葉主催、県・市共催） 未達成企業及び雇用率の新規対象企業向けとした障害者雇用に関する支援機関や制度に関するハンドブックの作成及び配布
障害者雇用率達成企業の割合	49.0%	51.0% (H32年度)	49.4% 〔54.5%〕 〔51.5%〕			

基本方針3 ものづくり分野等における技能の振興及び継承の促進

実施目標

項目	現状 (H27年度)	目標	H30年度実績 〔H29年度実績〕 〔H28年度 〃 〕	H30年度の主な取組	取組の評価	R01年度の主な取組
技能検定受検者の申請者数	4,401人	5,500人 (H32年度)	6,990人 〔5,624人〕 〔4,632人〕	<ul style="list-style-type: none"> 国が定める実施計画に基づき本県の実施計画を策定及び実施 (H30前期：52職種80作業、 後期：75職種65作業) 若年技能者の確保を図るため、35歳以下の若年者について2、3級の実技試験手数料の減額(9,000円)を継続実施 外国人技能実習制度に係る随時級の検定受検者が増加することから、技能検定委員を確保に向けて、千葉県職業能力開発協会と連携して業界団体等へ協力を依頼。 (H30基礎級：48職種、 随時3級：45職種、 随時2級：34職種) 	<ul style="list-style-type: none"> 実績は目標値を上回っているものの、外国人技能実習制度に係る検定受検者が増加したことによるものであり、引き続き若年者の受検を促進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 若年者の受検を促進するため、実技試験手数料の減額について周知を行う。 外国人技能実習制度に係る検定受検者の増加に対応するため、協会の実施体制の整備を支援する。
未来の名工チャレンジ事業における参加者数	286人	毎年度、増加を目指す	349人 〔336人〕 〔268人〕	<ul style="list-style-type: none"> ちばテク各校において、県民の日周辺(6月、高校生)、夏休み期間(7～8月、小中高)、10月(高校生)を中心にもものづくりの体験コースを実施した。 (64コース・349人) 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より参加者数が増加し、目標を達成した。 小中学生向けの参加者数が多いのに対して、高校生向けの参加者数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ちばテク各校での広報活動の連携を図り、併せて高等学校向けの広報を強化する。 市町村との共催による、地元地域での開催など、参加機会の拡大を検討する。

基本方針4 職業能力開発を推進するための体制の充実

実施目標

※基本方針4は、関係団体との連携強化を主な内容としているため、その性質上、定量的な目標は設定しない。